

1)新規採用医薬品

医薬品名	効能・効果	用法・用量
ケイキサレート散 5g/包 (ポリスチレンスルホン酸ナトリウム) 高カリウム血症改善剤 薬価:58円/5g1包 鳥居薬品	<効能効果>急性および慢性腎不全による高カリウム血症 <用法用量>内服:通常、成人1日量30gを2~3回に分け、その1回量を水50~150mLに懸濁し、経口投与する。症状に応じて適宜増減。注腸:通常、成人1回30gを水または2%メチルセルロース溶液100mLに懸濁して注腸する。症状に応じて適宜増減。 <説明文>血液中のカリウムを減らすお薬です。	
ウテメリン錠 5mg (リトドリン塩酸塩) 子宮収縮抑制薬(β2刺激薬) 薬価:50.30円/1錠 キッセイ	<効能効果>切迫流・早産 <用法用量>通常、1回1錠(リトドリン塩酸塩として5mg)を1日3回食後経口投与する。なお、症状により適宜増減する。 <説明文>子宮が収縮するのを抑え、流産や早産を予防するお薬です。	
ウテメリン注 50mg (リトドリン塩酸塩) 子宮収縮抑制薬(β2刺激薬) 薬価:591円/50mg・5mL・1A キッセイ	<効能効果>緊急に治療を必要とする切迫流・早産 <用法用量>通常、1アンプル(5mL)を5%ブドウ糖注射液または10%マルトース注射液500mLに希釈し、リトドリン塩酸塩として毎分50μgから点滴静注を開始し、子宮収縮抑制状況および母体心拍数などを観察しながら適宜増減する。子宮収縮の抑制後は症状を観察しながら漸次減量し、毎分50μg以下の速度を維持して収縮の再発が見られないことが確認された場合には投与を中止すること。通常、有効用量は毎分50~150μgである。なお、注入薬量は毎分200μgを越えないようにすること。 <説明文>子宮が収縮するのを抑え、流産や早産を予防する注射薬です。	
マグセント注 100mL (硫酸マグネシウム水和物・ブドウ糖) 子宮収縮抑制薬 薬価:2,566円/100mL・1瓶 あすか製薬=武田	<効能効果・用法用量> ○切迫早産における子宮収縮の抑制:初回量として、40mL(硫酸マグネシウム水和物として4g)を20分以上かけて静脈内投与した後、毎時10mL(1g)より持続静脈内投与を行う。なお、子宮収縮が抑制されない場合は毎時5mL(0.5g)ずつ増量し、最大投与量は毎時20mL(2g)までとする。子宮収縮抑制後は症状を観察しながら漸次減量し、子宮収縮の再発がみられないことが確認された場合には中止する。本剤は持続注入ポンプを用いて投与すること。○重症妊娠高血圧症候群における子癇の発症抑制及び治療:初回量として、40mL(硫酸マグネシウム水和物として4g)を20分以上かけて静脈内投与した後、毎時10mL(1g)より持続静脈内投与を行う。症状に応じて毎時5mL(0.5g)ずつ増量し、最大投与量は毎時20mL(2g)までとする。本剤は初回量投与の場合を除いて、持続注入ポンプを用いて投与すること。 <説明文>子宮収縮を抑制することにより、早産を予防する注射薬です。	
ホーリンV腔用錠 1mg (エストリオール) 卵胞ホルモン剤 薬価:24.90円/1錠 あすか製薬=武田	<効能効果>膣炎(老人、小児及び非特異性)、子宮頸管炎並びに子宮腔部びらん <用法用量>エストリオールとして、通常成人1日1回0.5~1.0mgを腔内に挿入する。なお、年齢、症状により適宜増減する。 <説明文>膣の炎症、ただれや子宮の炎症を治療するお薬です。	
アルト原末 1g1管 (アルギン酸ナトリウム)	<効能効果>出血部位が表面に限局され、局所の処置で止血する場合、とくに結紮困難な細小血管の出血、実質臓器の出血など	

局所止血薬 薬価:280.40 円/1g・1 管 カイゲンファーマ	<用法用量>必要に応じて所要量を創面に撒布し、乾いたガーゼ又は生理食塩水を浸したガーゼ又は脱脂綿にて短時間押さえる。
トレーラン G 液 50g 150mL (デンブ部分加水分解物) 経口糖忍耐力試験用糖質液 薬価:169.50 円/150mL・1 瓶 エイワイファーマ=陽進堂	<効能効果>糖尿病診断時の糖負荷試験に用いる。 <用法用量>ブドウ糖として、通常成人 1 回 50g、75g、又は 100g を経口投与する。小児には体重 kg 当り 1.75g(トレーラン G 液 50g 又はトレーラン G 液 75g として 5.25mL)を経口投与する。 <説明文>糖尿病の診断のためのブドウ糖です。
リュープロレリン酢酸塩注射用キット 1.88mg 「NP」 (リュープロレリン酢酸塩) LH-RH 誘導体マイクロカプセル型徐放性製剤 薬価:15,090 円/1.88 mg・1 キット ニプロ	<効能効果・用法用量> ○子宮内膜症の場合:通常、成人には 4 週に 1 回リュープロレリン酢酸塩として 3.75mg を皮下に投与する。ただし、体重が 50kg 未満の患者では 1.88mg を投与することができる。なお、初回投与は月経周期 1~5 日目に行う。○子宮筋腫の場合:通常、成人には 4 週に 1 回リュープロレリン酢酸塩として 1.88mg を皮下に投与する。ただし、体重の重い患者、子宮腫大が高度な患者では 3.75mg を投与する。なお、初回投与は月経周期 1~5 日目に行う。○中枢性思春期早発症の場合:通常、4 週に 1 回リュープロレリン酢酸塩として 30 μ g/kg を皮下に投与する。なお、症状に応じて 180 μ g/kg まで増量できる。 <説明文>子宮内膜症や子宮筋腫の症状を改善する注射薬です。
ミレーナ 52mg (レボノルゲストレル) 子宮内黄体ホルモン放出システム 薬価:26,621.40 円/52 mg・1 個 バイエル	<効能効果>避妊・過多月経・月経困難症 <用法用量>本剤 1 個を子宮腔内に装着する。装着後 5 年を超えないうちに除去又は交換すること。

2) 仮採用医薬品

なし

3) 剤型・規格 変更/追加 医薬品

なし

4) メーカー変更医薬品・後発品変更医薬品

剤型変更追加・メーカー変更薬	既採用薬	備考
フェンラーゼ配合カプセル	タフマック E 配合カプセル	※製造中止
ヒアルロン酸 Na 関節注 25mg シリンジ「明治」	スベニールディスポ関節注 25mg	※製造中止
レスタミンコーワクリーム 1%	ベナパスタ軟膏 4%	※製造中止
カルベジローレル錠 2.5mg「DSEP」 カルベジローレル錠 10mg「DSEP」	アーチスト錠 2.5mg アーチスト錠 10mg	※オーソライズドジェネリック
ビソプロロールフマル酸塩錠 0.625mg「DSEP」 ビソプロロールフマル酸塩錠 2.5mg「DSEP」 ビソプロロールフマル酸塩錠 5mg「DSEP」	メインテート錠 0.625mg メインテート錠 2.5mg メインテート錠 5mg	※オーソライズドジェネリック
大塚糖液 5%100mL	ブドウ糖注 5%PL「フソー」100mL	

5) 院外限定採用医薬品(剤型追加)

医薬品名	効能・効果	用法・用量
ダクチル錠 50mg (ピペリドレート塩酸塩) 鎮痙薬(抗コリン薬) 薬価:6.40 円/1 錠 キッセイ	<効能効果>○下記疾患における痙攣性疼痛:胃・十二指腸潰瘍、胃炎、腸炎、胆石症、胆のう炎、胆道ジスキネジー、○切迫流・早産における諸症状の改善	<用法用量>ピペリドレート塩酸塩として、通常成人 1 日 150~200mg を 3~4 回に分割経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。
エストリール錠 1mg (持田) (エストリオール) 卵胞ホルモン製剤 薬価:12.30 円/1 錠 持田	<効能効果・用法用量> ○更年期障害、腔炎(老人、小児及び非特異性)、子宮頸管炎、子宮腔部びらん:エストリオールとして、通常成人 1 回 0.1~1.0mg を 1 日 1~2 回経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。○老人性骨粗鬆症:エストリオールとして、通常 1 回 1.0mg を 1 日 2 回経口投与する。なお、症状により適宜増減する。	
デュファストン錠 5mg (ジドロゲステロン) 黄体ホルモン製剤 薬価:29.00 円/1 錠 ヴィアトリス	<効能効果・用法用量> ○無月経、月経周期異常(稀発月経、多発月経)又は生殖補助医療における調節卵巣刺激の開始時期の調整、月経困難症、機能性子宮出血、黄体機能不全による不妊症、子宮内膜症、切迫流早産、習慣性流早産:ジドロゲステロンとして、通常成人 1 日 5~15mg を 1~3 回に分割経口投与する。子宮内膜症には 1 日 5~20mg を経口投与する。○調節卵巣刺激下における早発排卵の防止:ジドロゲステロンとして、通常、月経周期 2~5 日目より 1 日 20mg を 1 又は 2 回に分割経口投与する。○生殖補助医療における黄体補充:ジドロゲステロンとして、通常、1 回 10 mg を 1 日 3 回経口投与する。	
ルトラール錠 2mg (クロルマジノン酢酸エステル) 黄体ホルモン製剤 薬価:24.40 円/1 錠 富士製薬	<効能効果>無月経、月経周期異常(稀発月経、多発月経)又は生殖補助医療における調節卵巣刺激の開始時期の調整、月経量異常(過少月経、過多月経)、月経困難症、機能性子宮出血、卵巣機能不全症、黄体機能不全による不妊症又は生殖補助医療における黄体補充	<用法用量>クロルマジノン酢酸エステルとして、通常成人 1 日 2~12mg を 1~3 回に分割経口投与する。生殖補助医療における黄体補充で用いる場合、本剤の投与期間は、新鮮胚移植の場合は採卵後から胚移植日まで、凍結融解胚移植の場合は子宮内膜が十分に厚くなった時点から胚移植日までとし、他の黄体補充法と組み合わせて用いる。
ジエノゲスト錠 0.5mg「モチダ」 (ジエノゲスト) 黄体ホルモン製剤 薬価:52.00 円/1 錠 持田	<効能効果>月経困難症	<用法用量>通常、成人にはジエノゲストとして 1 日 1mg を 2 回に分け、月経周期 2~5 日目より経口投与する。
ジエノゲスト錠 1mg「モチダ」 (ジエノゲスト) 黄体ホルモン製剤 薬価:73.80 円/1 錠 持田	<効能効果>子宮内膜症、子宮腺筋症に伴う疼痛の改善	<用法用量>通常、成人にはジエノゲストとして 1 日 2mg を 2 回に分け、月経周期 2~5 日目より経口投与する。
プラノバル配合錠 (ノルゲストレル・エチニルエストラジオール) 卵胞・黄体ホルモン配合剤 薬価:13.80 円/1 錠 あすか製薬=武田	<効能効果・用法用量> ○機能性子宮出血:1 日 1 錠を 7~10 日間連続投与する。○月経困難症、月経周期異常(稀発月経、頻発月経)又は生殖補助医療における調節卵巣刺激の開始時期の調整、過多月経、子宮内膜症、卵巣機能不全	:1 日 1 錠を月経周期第 5 日より約 3 週間連続投与する。

<p>メノエイドコンビパッチ (エストラジオール・酢酸ノルエチステロン) 経皮吸収型 卵胞・黄体ホルモン配合剤 薬価:383.50 円/1 枚 久光</p>	<p><効能効果>更年期障害及び卵巣欠落症状に伴う血管運動神経系症状 (Hot flush 及び発汗) <用法用量>通常、成人に対し、メノエイドコンビパッチ 1 枚を3～4 日ごとに1 回(週 2 回)下腹部に貼付する。</p>
<p>ルナベル配合錠 ULD (ノルエチステロン・エチニルエストラジオール) 卵胞・黄体ホルモン配合剤(LEP 製剤) 薬価:191.50 円/1 錠 ノーベル=日本新薬=富士製薬</p>	<p><効能効果・用法用量> ○月経困難症:1 日 1 錠を毎日一定の時刻に 21 日間経口投与し、その後 7 日間休薬する。以上 28 日間を投与 1 周期とし、出血が終わっているか続いているかにかかわらず、29 日目から次の周期の錠剤を投与し、以後同様に繰り返す。○生殖補助医療における調節卵巣刺激の開始時期の調整:1 日 1 錠を毎日一定の時刻に、通常、14～21 日間経口投与する。</p>
<p>ジェミーナ配合錠 (レボノルゲストレル・エチニルエストラジオール) 卵胞・黄体ホルモン配合剤(LEP 製剤) 薬価:281.60 円/1 錠 ノーベル</p>	<p><効能効果・用法用量> ○月経困難症:下記のいずれかを選択する。 ・1 日 1 錠を毎日一定の時刻に 21 日間連続経口投与し、その後 7 日間休薬する。以上 28 日間を 1 周期とし、出血が終わっているか続いているかにかかわらず、29 日目から次の周期を開始し、以後同様に繰り返す。 ・1 日 1 錠を毎日一定の時刻に 77 日間連続経口投与し、その後 7 日間休薬する。以上 84 日間を 1 周期とし、出血が終わっているか続いているかにかかわらず、85 日目から次の周期を開始し、以後同様に繰り返す。 ○生殖補助医療における調節卵巣刺激の開始時期の調整:1 日 1 錠を毎日一定の時刻に、通常、14～28 日間連続経口投与する。</p>
<p>ドロエチ配合錠「あすか」 (ドロスピレノン・エチニルエストラジオール配合錠・プラセボ) 卵胞・黄体ホルモン配合剤(LEP 製剤) 薬価:2,636.80/1 シート あすか製薬=武田</p>	<p><効能効果>月経困難症 <用法用量>1 日 1 錠を毎日一定の時刻に定められた順に従って(淡赤色錠から開始する)28 日間連続経口投与する。以上 28 日間を投与 1 周期とし、出血が終わっているか続いているかにかかわらず、29 日目から次の周期の錠剤を投与し、以後同様に繰り返す。</p>
<p>アンジュ 28 錠 (エチニルエストラジオール・レボノルゲストレル・プラセボ) 卵胞・黄体ホルモン配合剤(低用量 OC) 薬価:未収載 あすか製薬=武田</p>	<p><効能効果>避妊 <用法用量>1 周期目は 1 日 1 錠を毎日一定の時刻に赤褐色錠から開始し、指定された順番に従い 28 日間連続経口投与する。2 周期目は、1 周期服用開始 29 日目より 1 周期目と同様に赤褐色錠から 1 日 1 錠を 28 日間連続投与し、3 周期目以降は 2 周期目と同様に投与する。</p>
<p>セキノビット錠 100mg (シクロフェニル) 排卵誘発薬 薬価:30.10 円/1 錠 あすか製薬=武田</p>	<p><効能効果>第 1 度無月経、無排卵性月経、希発月経の排卵誘発 <用法用量>シクロフェニルとして、1 日 400～600mg を 2～3 回に分け、5～10 日間経口投与し、症状に応じてこれを反復する。</p>
<p>レルミナ錠 40mg (レルゴリクス) GnRH アンタゴニスト 薬価:869.80 円/1 錠 あすか製薬=武田</p>	<p><効能効果>子宮筋腫に基づく下記諸症状の改善[過多月経、下腹痛、腰痛、貧血]、子宮内膜症に基づく疼痛の改善 <用法用量>通常、成人にはレルゴリクスとして 40mg を 1 日 1 回食前に経口投与する。なお、初回投与は月経周期 1～5 日目に行う。</p>
<p>レトゾール錠 2.5mg「サンド」 (レトゾール) アロマターゼ阻害剤 薬価:72.00 円/1 錠</p>	<p><効能効果・用法用量> ○閉経後乳癌:通常、成人にはレトゾールとして 1 日 1 回 2.5mg を経口投与する。○生殖補助医療における調節卵巣刺激、多嚢胞性卵巣症候群における排卵誘発、原因不明不妊における排卵誘発:通常、レトロ</p>

サンド	ゾールとして1日1回2.5mgを月経周期3日目から5日間経口投与する。十分な効果が得られない場合は、次周期以降の1回投与量を5mgに増量できる。
-----	--

医薬品名	効能・効果	用法・用量	備考
フェルデン軟膏0.5%	割愛		※採用薬からの切り替え

6) 患者限定採用医薬品

医薬品名	効能・効果	用法・用量
テリルジー200 エリプタ 30 吸入用 (フルチカゾンフランカルボン酸エステル・ウメクリジニウム臭化物・ビランテロールトリフェニル酢酸塩) 気管支拡張薬(ステロイド・抗コリン薬・β2刺激薬配合薬) 薬価:10,043.30 円/1 個 GSK	<効能効果>気管支喘息 <用法用量>通常、成人にはテリルジー100 エリプタ 1 吸入(フルチカゾンフランカルボン酸エステルとして100 μg、ウメクリジニウムとして62.5 μg 及びビランテロールとして25 μg)を1日1回吸入投与する。なお、症状に応じてテリルジー200 エリプタ 1 吸入(フルチカゾンフランカルボン酸エステルとして200 μg、ウメクリジニウムとして62.5 μg 及びビランテロールとして25 μg)を1日1回吸入投与する。	
スーグラ錠 25mg (イブラグリフロジン L-プロリン) 経口血糖降下薬(SGLT2 阻害薬) 薬価:120.80 円/1 錠 アステラス	<効能効果・用法用量> 2型糖尿病:通常、成人にはイブラグリフロジンとして50mgを1日1回朝食前又は朝食後に経口投与する。なお、効果不十分な場合には、経過を十分に観察しながら100mg1日1回まで増量することができる。 1型糖尿病:インスリン製剤との併用において、通常、成人にはイブラグリフロジンとして50mgを1日1回朝食前又は朝食後に経口投与する。なお、効果不十分な場合には、経過を十分に観察しながら100mg1日1回まで増量することができる。	
ツムラ竜胆瀉肝湯エキス顆粒(医療用)2.5g /包 (ジオウ・トウキ・モクソウ・オウゴン・シャゼンシ・タクシャ・カンブウ・サンシシ・リュウタン) 薬価:10.90 円/g ツムラ	<効能効果>比較的体力があり、下腹部筋肉が緊張する傾向があるものの次の諸症:排尿痛、残尿感、尿の濁り、こしけ <用法用量>通常、成人1日7.5gを2~3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。 ※泌尿器科 他院継続	

7) 削除医薬品

医薬品名	備考
タフマック E 配合カプセル	製造中止
スベニールデイスポ関節注 25mg	製造中止
ベナパスタ軟膏 4%	製造中止
アーチスト錠 2.5 mg・10 mg	オーソライズドジェネリックに変更
メインテート錠 0.625mg・2.5 mg・5 mg	オーソライズドジェネリックに変更
タリージェ錠 5 mg	タリージェ OD 錠 5 mgに変更
ブドウ糖注 5%PL「フソー」100mL	大塚糖液 5%100mLに変更
カルグート錠 5 mg	使用実績なし
ヒアルロン酸 Na 点眼液 0.1%「センジュ」	使用実績なし、製造中止

8) がん化学療法レジメン追加について

なし

9) その他

院内製剤 キシロカインアズノール含嗽液

組成: 4%キシロカイン液 10mL・アズノールうがい液 5mL・滅菌精製水 500mL

使用期限: 1 週間

10) 効能効果等の改訂のお知らせ (2023.5～2023.9)

エンハーツ点滴静注用 100mg	がん化学療法後に増悪した HER2 (ERBB2) 遺伝子変異陽性の切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌に対する効能等追加
リツキサン点滴静注 100mg・500 mg	既存治療で効果不十分なループス腎炎に対する効能等追加
イーケプラドライシロップ 50% イーケプラ点滴静注 500mg	てんかん患者の部分発作(二次性全般化発作を含む)に対する用法等追加 生後 1 ヶ月以上の小児への適応拡大
シングリックス筋注用	帯状疱疹の予防に対する用法等追加 接種対象「50 歳以上の成人」に「罹患するリスクが高いと考えられる 18 歳以上の者」を加える適応拡大
マイトマイシン注用 2mg・10mg	海外流通品の国内供給に向けた承認を取得したことによる用法等変更

11) 禁忌・併用禁忌・使用上の注意の改訂のお知らせ (2023.5～2023.9)

リバスタッチパッチ	【特定の背景を有する患者に関する注意】心筋梗塞、弁膜症、心筋症等の心疾患や電解質異常(低カリウム血症等)等のある患者の項:「QT 延長又はその既往歴・家族歴のある患者」追記 【重大な副作用】狭心症、心筋梗塞、徐脈、房室ブロック、洞不全症候群の項:「QT 延長」追記
プラザキサ	【重要な基本的注意】「食道潰瘍及び食道炎の防止・早期発見を目的とした注意事項」追記 【重大な副作用】「食道潰瘍、食道炎」追記
セファメジン α	【重要な基本的注意】【重大な副作用】「アレルギー反応に伴う急性冠症候群」追記
アトルバスタチン、ロスバスタチン、 ピタバスタチン、リポバス、メバロチン	【特定の背景を有する患者に関する注意】「重症筋無力症又はその既往歴のある患者」追記 【重大な副作用】「重症筋無力症」追記
マンジャロ	【重大な副作用】「アナフィラキシー、血管性浮腫」追記
ミノマイシン錠 ミノサイクリン塩酸塩点滴静注用 100 mg	【重大な副作用】「全身性紅斑性狼瘡 (SLE) 様症状の増悪」を「ループス様症候群」に変更、「長期投与例におけるループス様症候群の発現に関する注意喚起」追加
ゾコーバ錠 125 mg	【重大な副作用】「アナフィラキシー」追記

12) 院内副作用報告 (2023.5～2023.9)

【当院処方事例のみ記載】

トラムセツト	皮疹
ジクトルテープ	皮疹
タリージェ	視力障害
ノイロトロピン	掻痒
メブチンエアー	(無水エタノールで)発赤